

858. "Einreihig" 並ビ = Generalized
"einreihig" Ring = ツイテ

中山 正 (阪大)

On Frobeniusean algebras, I (アナルス, 40)
及ビ II (近刊) = ツイテノ補足的注意ヲ一ニシタイト思ヒ
マス。ソコデ Frobeniusean ring ノ一般論ノ應用
トシテ次ノコトヲ証明シマシタ (I, 定理 10; II, 定理
16):

定理 1 環 A = オイテ如何ナル両側いでやる子 e
(principal e) $e = Ac = cA$ ナル形 = カケルナラバ,
 A ノ如何ナル剰餘環 e フリベトウす的 (Frobeniusean)
デアル。(逆 e 成立)

但シコトデ, マタ以下スベテ, 環ト云フノハ **両方ノ連鎖**
律 ヲ充スモノトスル。フリベトウす環ノ一般ノ定義ハ一
寸面倒 (II, Chap. II) デスガ, 特ニ多元環ノ場合ニハ
右ト左ノニツノ正規表現が同値ナ (ソシテ主單位元ヲモツ)
コトデアリマス。

然ルニ 淡野氏ハ Über verallgemeinerte
Abelsche Gruppe (輯報, 15) デ

定理 2 環 A = 於テスベテノ両側いでやる子が
 $e = Ac = dA$ (c ハ d ト異ツテヨイ) ト表ハセルナラバ,
 A ハ Kothe ノ意味デ einreihig デテル。(逆 e 勿
論成立)。

ジテ $0 = \text{nil}(A)$ 元全体ノナス左いでやるトスル。シ
 カル $= cA \subseteq \mathfrak{z}$ ナレトハ明カデアリマスカラ、 $l(cA) \supseteq l(\mathfrak{z})$ 。
 ヨツテ結局

$$[\mathfrak{z}] \subseteq [A/l(\mathfrak{z})]$$

ナル式ヲ得ル。此方、 $a \rightarrow ad = \text{ヨツテ判ル如ク } Ad$ ハ
 $A/l(cA) = l/l(\mathfrak{z}) = \text{同型ナル}$ 。シカル $= Ad \subseteq \mathfrak{z}$ 。
 ヨツテ

$$[\mathfrak{z}] \supseteq [Ad] = [A/l(\mathfrak{z})]$$

ニツ、不等式ヲ比べレバスベテノ等号、特 $= [\mathfrak{z}] = [Ad]$ 、
 ヨツテ $\mathfrak{z} = Ad$ デナケレバナラヌ事ガ判ル。

同様にシテ $\mathfrak{z} = cA$ 。

次 $=$ Generalized "einreihig" ring $=$

ツイテノ注意ヲーツ。Gen. "einreihig" ring ノ
 einreihig ノ拡張トシテ前出ノ条件、a), b) ノ中、少
 シ強引スギル a) ヲ除イテ、b) ガケテ假定シタモノ (タジ
 シ主単位元ノ存在ハマハリ假定) トシテ導入シマシタ。然レ
 Käthe ノ 主定理 デアツタ所ノ「イカナル左加群 \in
 cyclic デシカ $\in Ae$ (e ハ primitive ナ中等元) ト
 homomorphic ナルマウナ加群ノ直和ニ分解サレル”
 トイフコトガ保持サレテキルコトヲ証明シマシタ (多元環 $=$
 ツイテハ I, 定理 11, 一般ニツイテハ II, 定理 17)。右
 加群ニツイテモ勿論同様ノ性質ガアリマス。然レ (左, 右
 両方同時ニトレバ) ソノ逆ニ成立シマス。ソノコトハ多元環
 ニツイテハ既ニ II 1 最後ニ寸注意シテオキマシタガ、實

ハ一般ノ場合デモヨイコトニ氣付キマシク、ソノ証明ノ大略ヲ述ベマス。

先ツ A が上記ノ性質、特ニイカナル直既約ノ左加群 εA (ε ハ適當ノ primitive idempotent) = homomorphic, 同様ニイカナル直既約右加群 eA = homomorphic トイフ性質ヲモツトスル。 ($\varepsilon A, eA$ = homomorphic トイフ代リニ 唯一ツノ maximal ノ部分加群ヲ有ツト云ツテモヨイ)。

然ルトキ A が Gen. einreihig ナルコトヲ云ヒタイノデアアルガ、ソレニハ如何ナル primitive idempotent e' ヲツツテモ Ae' がタビーツノ組成列ヲモツ事、即チ $N^{i-1}e'/N^ie'$ ナル剰餘加群が常ニ (0 ナケレバ) 單純ナルコト及ビ右加群ニ對スル同様ノコトヲイヘバヨイ。タビシ茲ニ N ハ A ノ Radical トスル。

假リニソウバタイトシテ、アルーツノ i ニツイテ $N^{i-1}e'/N^ie'$ ナル完全可約加群がニツ以上ノ單純加群ニワカレルトシ、ソノ任意ノニツ m_1, m_2 ヲトル。更ニココヲ i ハ上ノ如キ事ノオコル最初ノモノトシテオク。從ツテ $N^{j-1}e'/N^je'$ ($j < i$) ハスベテ單純デアルトスル。(コノ假定ノ下ニ $N^{i-1}e'/N^ie'$ が Ae'/N^ie' ノ最大完全可約部分群ナルコトが容易ニ分ル)。

1) $m_1 \neq m_2$ ノ場合。ニツノ primitive ノ中等元 e_1, e_2 ヲ $m_1 \cong Ae_1/Ne_1, m_2 \cong Ae_2/Ne_2$ ナル如クトル。而シテ新ニツノ 右加群

$$n_1 = e_1 A / e_1 N^i, \quad n_2 = e_2 A / e_2 N^i$$

ヲ考へル。 $m_1 \cong A e_1 / N e_1$ かつ $e_1 N^{i-1} e_1 \not\subseteq N^i$, ヨツテ m_1 / 完全可約約群 $e_1 N^{i+1} / e_1 N^i$ / 中 = $e_1' A / e_1' N$ ト同型 + 単純約群ガ少クモ一ツ存在スル。ソレヲ σ_1 トスル。同様 = n_2 / $e_2' A / e_2' N$ ト同型 + 単純群 σ_2 ヲ含ム。ソコヲ今 σ_1 ト σ_2 ヲ identify シテ ($\sigma_1 \cong \sigma_2$ ナルコト = 注意), 新 = 一ツノ右加群 n ヲ得ル:

$$n = (n_1, n_2), \quad n_1 \cap n_2 = \sigma_1 = \sigma_2$$

シカルトキコノ n ガ 直既約 = ナル / デアル。然レソノ証明ハ一寸面倒 (但シ要スル = 簡單 + 群論的考察) ガカラ省略シマス。

他方 $n / n N$ ガ単純デナイコトカラ n ハ決シテ primitive ナ中零元デ作ラレタ右いデヤ \bar{n} = homomorphic = ナリ得ナイ。ヨツテコノ Case 1) ハ排除サレヌバナラヌ。

2) $m_1 \cong m_2$ / 場合。今 $m = A e' / N^i e'$ ($\cong m_1, m_2$) トオキ更 = 他 = モウ一ツコレト同型 + 群 m^* ヲ考へル。而シテ $m^* =$ 於テ $m_1, m_2 =$ 對應スル部分加群ヲ m_1^*, m_2^* トスル。シカルトキ m_2 ト m_1^* トヲ identify シテ (suffix = 注意!!) 一ツノ新シイ加群 \tilde{m} ヲツクル。

$$\tilde{m} = (m, m^*), \quad m \cap m^* = m_2 = m_1^*$$

シカラバコノ左加群 \tilde{m} ガ直既約 = ナル。ソノ証明 = ツイテハ、タトへバ上記 Käthe / 論文、或ハ (彼ノ弟子)

14. Brummond 1. dissertation "標数 p の係数
体 = 於ル 群環 = ツイテ" を参照。

他方この場合 \widehat{m} の primitive と中等元ノツクル
principal と左いで φ = homomorphic = トラ
ス事ハ明カ。ヨツテ φ = 不可能。

結局矛盾 = 到達シ、 A が Gen. einreihig ナル
コトガワカル。

次 = 上記ノ事 = 関連シタ注意ヲ一ニ = 述ベル。モトモト
einreihig 環ハ Köthe が単因子論ノ拡張ノ意味ヲ導
入シタノデアツタガ、彼ハ "スベテノ左マタハ右加群ガ
cyclic と群ノ直和 = 分解サレル様ナ環ハ?" と自問シ
タ。單 = cyclic と群トイフバカリデナク、最大ノ部分群
ガ唯一ツト云フ條件ヲツケレバ上記ノ如ク逆ノ方モ、シタガ
ツテ問題ガ完全 = 我々ノ generalized "einreihig"
環ヲ解決サレル。(シカモ附加シタ条件ハ単因子論ノ拡張
ノ上カラ見テモ不自然ノモノデハナイ)。シカシ Köthe
ノ問ノマデハ問題ハ未ダ残ル。(特 = 可換ナ環 = ノミ限
レバソレハ既 = einreihig ナ環ヲ解決サレテキルコトハ
Köthe が既 = 述べテキル如クデアル) 現 = ソノ如何ナル
左又ハ右加群 E cyclic ナモノノ直和 = ナリ。シカモ
Generalized "einreihig" デナイ環ガ存在スル。

タトヘバ

$$\begin{pmatrix} a & 0 & c \\ 0 & b & d \\ 0 & 0 & a \end{pmatrix}$$

ナル行列全体ノナス多元環ガサラデアアル。(証明省略)

更ニ、上記ノ Brummund ノ論文ヲ標数 p ノ体ノ上デハ Cyclic ナイ p -group ハ常ニ イクラデモ大キナ直既約ナ表現ヲモツコトヲ述ベテキル。彼ノ論法ヲツカフト、アル適当ナ primitive 巾等元 e ニ對シテ、且ツアル index $i =$ 對シテ $N^{i-1}e / N^i e$ (N ハ radical) ナル完全可約左加群ガ少クモ ニツ互ニ同型ナ單純部分加群ヲツクメバ、ソウスレバイクラデモ大キナ直既約ナ左加群ガ存在スルコトガワカル。

然ラバ、イクラデモ大キナ直既約左又ハ右加群ヲモタナイ環ノ一般ナモノハ? トイフ問題ガ起ル。上ノ條件ト generalized "einreihig" ナ条件トノ間ニハ勿論未ダ大キナ間隙ガアリ、generalized "einreihig" ナル概念ハ (上ノ Köthe ノヲサヘ 解決シナイノガカラ a fortiori =) コノ問題ニモ未ダ無力デアアル。モシコレヲノコトニ關シテ何等カノ御教示ヲイタゞケレバ幸甚ニ思ヒマス。